

【活動のねらい】

命の尊さと命のつながりを学び、自分たちの住む尼崎に豊かな自然環境を取り戻すため、主体的に取り組む生徒を育成する。

【活動内容】

1 環境教育

学校教育を通じて生徒が自分たちの生きる環境を知り、地域特性に応じた学習活動から自分たちが生きる環境を改善しようとする心と態度を育むことは極めて重要である。生徒の主体的な活動から持続可能な地域づくりへ発展させるために、本校では、尼崎港や運河の過剰な栄養塩で繁殖した藻類や貝類などの生物を、死んでヘドロ化する前に取り上げ、堆肥の材料として作物栽培に利用し、循環型社会の構築につながる研究実践に取り組んでいる。

(1) 尼崎運河の水質浄化活動

4月17日大阪湾フェニックスセンター、NPO団体と連携して行なってきた大阪湾での海藻育成実験の結果を踏まえ、栄養塩の吸収・固定に用いる海藻としてワカメを選定し、尼崎港で栽培し、観察した。1月に種付けを行い、毎月一度観察を行っている。

作物栽培を通して循環型社会の構築について学ぶ教育プログラムの完成を目的として、ワカメを育てて海の汚れの元となるチッソやリンを吸収し、枯葉や枯草と混ぜ合わせて堆肥を作り、菜の花の栽培に利用した。

(2) 尼崎駅前公園チューリップ運動参画

4月9日(土) 阪神尼崎駅前公園でチューリップ運動が開かれた。そこで本校吹奏楽部が記念演奏を行い、チューリップ運動に花を添えた。

(3) 2016春の花と緑のフェスティバル

4月29日(金) 尼崎市西公園にて、尼崎市公園緑化協会と連携して、2016年春の花と緑のフェスティバルに参加して、緑を増やして、町の環境改善を進めるためにブースを出展した。

(4) 尼崎21世紀の森作り

6月～3月にかけて、21世紀の森作りのために、下草を刈ったり、苗を植えたりした。また、森の成長の調査をして環境改善の方法について活動を通して学習した。

(5) エコキッズメッセ

11月12日(土) 尼崎21世紀の森でいろいろな企業が環境のためにどんなことをしているかを学習するイベントが行われた。吹奏楽部が参加した。

(6) ラブリバー活動

10月22日(土)と11月15日(火)、学校近くの庄下川で清掃活動とプランターを設置する活動を整美緑化委員会、運動部、ネイチャークラブで行い、地域の環境美化に取り組んだ。

(7) のびのび公園、尼崎運河での活動

1年を通して、環境活動に取り組んだ。

(8) 命の教育(妊婦体験・赤ちゃん抱っこ体験)

6月16日(木) 妊婦体験や赤ちゃん人形の抱っこ体験を通じて、命を育むことの大変さや尊さ、慈しみを知ることにより、親への感謝の気持ちや、命の尊厳について学習した。

(9) 人権教育講演会

11月7日(月) 尼崎ろうあ協会岩本重雄氏により、「障がいのある方から、中学生に望むこと」の演題で講演頂いた。

(10) ソーラーカー体験

11月18日(月) 芦屋大学の協力を得て、ソーラーカーに試乗し、環境に優しいエネルギーについて学んだ。

(11) 牛乳パック回収

保健委員会で牛乳パックを回収して、それをトイレトペーパーに交換している。

(12) ペットボトルのキャップ回収

ペットボトルのキャップを回収して、CO2の削減に貢献している。

2 防災教育

(1) 活動のねらい

阪神・淡路大震災から22年という年に、震災から得た貴重な体験を語り継ぎ、それを将来の災害への備えとして日常的な取り組みの中に生かしていけるように、生徒の防災意識を高める。

(2) 概要

1. 17は忘れない～防災セレモニー～

1. 黙禱
2. スライドショー鑑賞
3. 各教室へ移動 : 担任より資料配布、資料活用の説明。(各家庭でもよく話をするように指導)

資料：保護者への依頼文、『1.17は忘れない～阪神・淡路大震災から20年～』、『命を守れ！あまっ子災害対応リーフレット』

3 食育（総合的な学習の時間と技術・家庭科の連携）

【収穫祭】 ジャガイモの栽培から調理まで

- (1) 日時 平成28年7月13日(水)・・・3年生
7月14日(木)・・・2年生
7月15日(金)・・・1年生

- (2) 目的 ・技術・家庭と連携し食育を通して生きる喜び、命の尊さや感謝の心を学ぶ。
・命の循環について学ぶ。
・協力することの大切さを学ぶ。

- (3) 場所 調理室

- (4) 内容 カレー作り

- (5) 服装 体操服（体育の授業と同様）、下はジャージ

- (6) 持ち物 タオル、水筒、カレー用ご飯、スプーン、ふきん、エプロン、三角巾

- (7) カレーを調理する

収穫祭は、技術科の授業で栽培・収穫したジャガイモを使用

し、家庭科の調理実習というかたちで生徒全員が班ごとにカレーを調理する。土作りから手がけた無農薬、有機肥料で栽培した安全な食材である。また、1年生は小学6年生の時中学校訪問し植えた種いもから育てており、小中連携の活動にもなっている。

収穫祭当日は保護者の方々の調理への参加、手助けもあって盛大で楽しい学校行事となっている。また、環境教育の関係者や地域の方も招待し、一緒にカレーライスを食べる。

(8) 「循環」について学ぶ

今回の取り組みで尼崎の海の栄養を堆肥にして、食物に取り込み食することで、循環型社会のモデルケースとなった。成良中学校では、ワカメ堆肥や海の生物を使って堆肥を作り、混ぜ込んだ土を使用することで多くの作物栽培に活用できるようになっている。

4 伝統文化の「ほんもの」に出会う体験（生徒、地域、保護者をつなぐ活動）

【平成28年度 邦楽鑑賞会】

邦楽の演奏に親しむことで、自然と一体化した生活の中で生まれ、継承されてきた日本の伝統や文化を守り、継承する態度を育むことを目的に邦楽鑑賞会を開催した。当日は、保護者、地域の方も招待した。生徒が「ほんもの」に出会う体験をして平成23年度から行っている。

(1) 日 時：平成28年4月20日（水） 5、6校時 13時20分

(2) 場 所：本校多目的教室

(3) 内 容：語りと音楽 「野花南」

(4) 演奏者：嵯峨治彦[馬頭琴、喉歌]、嵯峨孝子[朗読]

モンゴルの馬頭琴やフィンランドの五弦カンテレなど民族楽器の生演奏を、世界各地の民話や詩の生き生きとした語りと緻密に融合させる独自のスタイルで全国各地で公演活動。ライブでは伝統曲からポップスまで多岐にわたる音楽作品や、喉歌（一人二重唱）やウコウク（アイヌ民謡輪唱）のミニワークショップを交えるなど、バラエティ豊かなプログラムも人気。ユニット名は北海道中央部の自然豊かな地域「野花南」にちなむ。

5 日本の伝統音楽の継承（尼崎市内の中学校をつなぐ取り組み）

（1）目的

我が国の伝統音楽について体験を通して学び、伝統と文化を守り、継承する心と態度を育む。

（2）具体的な取り組みと内容

本校の音楽科（坪井美津子）が中心となって、尼崎市内中学校合同邦楽合奏団を結成し、演奏活動を通じて身につけた日本の伝統音楽に対する知識や技能を地域貢献につなげる活動を行った。

（3）練習会・講習会の実施

①「尼崎市内中学校合同邦楽合奏団」

合同練習会

尼崎市立成良中学校を拠点校として、夏休み期間中に、個別練習、学校別練習（各校2回）、地区別練習（4回）、全体練習（5回）を実施したことで、生徒の邦楽への興味・関心や演奏技術が向上した。

②指導者実技研修会

本校を会場に、生田流新絃社二代家元の狩谷春樹氏を講師に招いて研修会を開催した。講師による指導によって、曲のイメージに合った奏法や音色の表現を学ぶことができた。

③邦楽鑑賞会・講習会の開催

本校を会場に鑑賞会を実施した。後の講習会では、演奏に対する心構えや、演奏方法について指導を受けることができた。この指導によって、その後の生徒の取り組みが充実し、より美しい音色で演奏できるようになった。

（4）尼崎市内中学校合同邦楽合奏団の発表会・音楽会への参加

平成28年11月7日に開催された『第67回尼崎市中学校・高等学校合同音楽会』に参加し「さくらメドレー」を演奏し優秀賞を受賞した。

6 募金活動（本校校区内の学校と連携をしての取組）

（1）日 時：平成29年 2月26日（土）

平成29年 3月 4日（土）

（2）場 所：阪神尼崎駅前広場

（3）内 容：地域の学校と連携して募金活動を行い、集まったお金を東

日本大震災の被災地に寄付している。

【活動発表】

1 平成28年11月19日（土）

尼崎ユネスコ協会と連携して『ユネスコセミナー』を開催し、ESDの取り組みと成果を発表した。

講師に青年海外協力隊経験者奥川洋介氏（セネガル/村落開発普及員）を招聘し「世界の水問題」について講演して頂き、理解を深めることができた。

2 平成29年3月26日（日）

平成28年度 尼海フォーラム 会場 尼崎市立中央図書館

（1）内容

①尼海の活動紹介

②講演 尼崎の魚について

講師 尼崎南部再生研究室 網本武雄氏 若狭健作氏

③パネルディスカッション

これからの尼海、尼崎について

【活動参加】

1 平成28年12月3日（土）

第8回ユネスコスクール全国大会・持続可能な開発のための教育(ESD)研究大会参加。

（1）内容

①開会式・あいさつ

②ESDの更なる推進に向けて

③パネルディスカッション

「つなぐー全国へ、世界へ、そして次世代へ、未来へ」

④ランチョンセッション(協力企業による社会貢献活動の紹介)

⑤テーマ別交流研修会(12分科会)

⑥中国・韓国のユネスコスクールでの活動事例紹介

⑦テーマ別交流研修会の報告ネットワーク構築についての報告

⑧第7回ESD大賞表彰式・閉会式

2 平成29年3月4日（土）

「第13回大阪湾フォーラム まわるい大阪湾・須磨でひっ

ぱりだこ」

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他

()